

ガザ

2018 春

フォトジャーナリストの古居みずえさんが、4月から6月最初まで、パレスチナ・イスラエル取材しました。
その中から、ガザ国境地域の様子分かる写真を紹介します。

古居みずえ

1988年からパレスチナの女性や子どもたち取材を続ける。2011年から福島県飯舘村にも。ドキュメンタリー映画『飯舘村の母ちゃんたち土とともに』、映画『ガーダーパレスチナの詩』を監督。テレビのドキュメンタリー多数。イスラム圏の女性やアフリカの子どもの取材活動。早稲田ジャーナリズム大賞、平和・協同ジャーナリズム基金を受賞。



国境地帯に押し寄せる人たち。ハマスの動員だけでなく、休日には若者や家族連れも目立ち、お茶やアイスクリームの屋台も出ていた。



写真左：
現地では民族衣装を着た女性たちが伝統料理を作っていた。



写真右：
境界の向こう側に思いを馳せる親子。ガザ住民の7割は難民だ。



5月14日、抗議行動に対してイスラエル軍が実弾を発砲。死者は60人以上にのぼった。医療関係者、ジャーナリスト、子どもも犠牲になった。